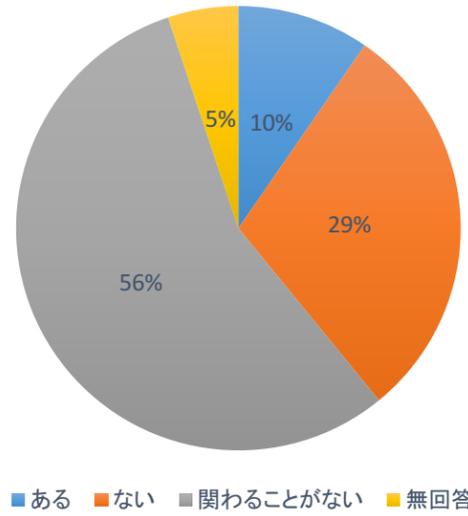


Q6 看取りの場面で問題は生じていますか

	回答数
ある	15
ない	46
関わることはない	87
無回答	8
合計	156



「ある」の主な回答内容

	所属	それはどのような問題ですか	その問題に対してどのように対応していますか
1	医療機関(医師)	患者家族の意志が変わった時	家族の意向にあわせている
2	医療機関(看護師)	終末期の方々に御家族の頻回な面会も出来かねることから本人・ご家族が十分なお別れができない場合もある。	電話で状況をお伝えしたり、週1~2回短時間での面会をできる範囲で行っている。
3	居宅介護支援事業所	自宅で看取るのか病院なのか家族の意見がはっきりしないとき	たいがい訪問看護が導入していることが多く訪問看護側から意見を求め助言してもらうことがある
4	居宅介護支援事業所	病院での看取りを予定していたが、家族と面会できないため在宅看取りに切り替えるケースが増えています。	ご家族の準備ができておらず、サービスを多く導入して対応します。
5	居宅介護支援事業所	入院されると家族は面会ができない	特に対応することができず、傾聴するのみ
6	居宅介護支援事業所		一度自宅での看取りを決めても状態が悪化すると病院へ入院させると言い出すことが多い、その時は看護師や医師に相談するように家族に伝えて、看護師や医師から家族に説明してもらった。
7	居宅介護支援事業所	周囲でコロナ感染者が出た事があり、業務を自粛せざるを得ず、支援が遅れ間に合わない事があった。	後悔が残っている。
8	地域包括支援センター	・入院患者の場合、面会制限があるため、家族が希望する看取りができない。面会できず亡くなり、家族の喪失感が大きい	・家族の希望をMSWIに相談 ・話せる場として介護者の会の紹介
9	訪問介護事業所	救急搬送になった場合、すぐ受け入れてもらえない。	訪問診療、看護にたよっています。
10	訪問看護ステーション	家族や縁者の方がお見舞いに来れない	スマホでの面会等
11	訪問看護ステーション	葬儀が簡素化され、お別れが満足にできない	
12	訪問看護ステーション	退院時共同指導で入院中に本人や家族と付き合い、終末期…看取り…対する意向を確認できなくなり、自宅に戻り歩いている間は訪看を必要とせず、動けなくなってから困惑が本人も家族にもあり、信頼関係をつくりながらの看取り支援の難しいケースも増えている。(若い利用者、家族)	本人・家族の心理を予測できるプロセスを捉え、NSが受け入れていく姿勢を持つよう努力させている(必要とされたら丁寧に付き合う)。本人・家族の各々の思いを受け止めながら、ターミナルケアを実施するようつとめている

13	薬局	訪問薬剤管理指導が行われてない方の麻薬使用に関し看取り後、未使用麻薬が法に従い処理されているか心配。	麻薬お渡し時に未使用麻薬が必要になった時の対応を説明してるが、追跡は困難で、各職種が未使用麻薬廃棄は調剤元へ持参し法に従い処理をご利用者家族へ声掛けして頂けたらと考えます。
----	----	--	--

回答から確認できること

- ・アンケート回答機関の10%が看取りの場面で問題が生じていると回答している。
- ・アンケート回答機関の半数以上は看取りの場面に関わる機会がない。
- ・入院中の場合、面会制限があるため家族が希望する看取りができず、適切な看取りの環境を作ることができない。
- ・入院では家族も含めた看取りの環境が十分調整できないため、在宅にきりかえることがある。
- ・救急搬送になってもすぐに医療機関に受け入れてもらえないことがある。